

# 株式会社雄和振興公社 第三セクター等経営健全化方針

## 1 作成年月日及び作成部署

作成年月日 令和4年2月25日

作成担当部署 秋田県秋田市観光文化スポーツ部観光振興課

## 2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社雄和振興公社

代表者名 奥田 正樹

所在地 秋田市雄和妙法字糠塚1-1

設立年月日 平成8年2月23日

資本金 30,000千円【秋田市の出資額（出資割合）30,000千円（100%）】

業務内容 秋田市雄和観光施設（雄和観光交流館、雄和里の家、雄和観光農産物加工所、雄和ふるさと温泉・コテージ、雄和サイクリングターミナル）および県営トレーニングセンター宿泊棟・食堂の管理運営

## 3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

当該法人は、平成8年2月に旧雄和町所有の公営施設の効率的な管理運営のために、第三セクター方式の法人として設立された。

平成17年の市町合併により、秋田市は対象法人の100%出資の株主となり、株主総会、取締役会等において決算書や経営資料に基づき、外部有識者の経営分析、評価も踏まえた改善指導を行ってきた。

経営状況については、平成22年度決算で累積赤字26,330千円を計上していたが、経営改善により平成23年度から28年度までは単年度黒字となり、累積赤字を1,414千円まで縮減したものの、その後、新型コロナウイルス感染症の影響等により収支が悪化し債務超過となったものである。

## 4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

当該法人が管理している施設は、県内外から年間約18万人を超える利用者があり、地域の重要な観光拠点として、また、周辺地域住民の交流や健康増進の場として親しまれている施設である。

当該法人は、平成30年度の当期純利益が大幅な赤字となり、経営改善に取り組んでいたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により収益が更に落ち込んだことから、平成30年度に策定した経営改善計画に新たな視点を加えた中長期経営改善計画を策定し、経営改革を行う。

## 5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

経営健全化のため債務超過の早期解消に努めるため、以下のとおり取り組む。

- (1) 中長期経営改善計画の着実な遂行に向け、実践経過を分析し、指導・提言する。
- (2) 取締役会等の財務資料から、状況分析し問題点の解消を図る提案をするほか、業務内容にも踏み込み、業務の効率化・質の向上を促す。
- (3) 指定管理事業は、公共施設を適切に管理運営し、施設の利用促進を図ることで利用料金収入等を増加させるとともに管理経費の縮減に取り組む。
- (4) 経営改革の推進や人材育成と意識改革を進め、各部門が密接に連携するとともに、経営課題は秋田市と当該法人で協議、連携を図りながら解決し、事業収益の確保につなげる。
- (5) 経営改善計画に基本方針を定め、その方針に基づき取り組みを進める。

(参考)

## 6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		H30年度	R元年度	R2年度
	資産総額	31,189	26,367	53,094
	うち現預金	19,880	12,809	42,135
	うち売上債権	1,297	1,020	1,273
	うち棚卸資産	8,470	7,340	5,559
	負債総額	21,855	35,305	91,035
	純資産額	9,334	△8,938	△37,941

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		H30年度	R元年度	R2年度
	売上高	220,866	214,463	141,330
	売上原価	59,376	53,783	30,475
	販売費・一般管理費	178,813	181,428	147,469
	営業外収益	209	974	8,500
	営業外費用	2	147	684
	経常利益	△17,116	△19,921	△28,798
	当期純利益	△16,526	△18,271	△29,003